

土地利用の検討の視点

基本構想審議委員会資料 5 - 1
平成 27 年 8 月 28 日

検討の視点

現在の課題解決や、目指すべき市の姿の実現に向けて実施すべきことが、記載の内容で網羅されているか（記載の文言に内包されているか）
点（施設や拠点）と線（道路等）を考慮に入れつつ、面（地域全体）としてどのような姿が望ましいか検討する

市全体

事務局案	主な意見	論点
<p>地域の特徴を活かしつつ、まち全体として調和のとれた「文教都市くにたち」を目指す。</p> <p>地域の自然や伝統、文化や、美しいまちなみなどを市の魅力として維持し育てていく土地利用を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各地域が各地域の良い取組を取込むべきである 各地域は独自性を出しながら、国立市全体として「学ぶこと」を特徴として出していけば良い 相続に伴う土地の細分化により特徴的な街並みが失われつつある 	
<p>自然との調和や都市景観に配慮しながら、都市基盤の整備を進め、安心・安全かつ良好な住環境を形成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農地は集約していくことがのぞましい 遺すべき自然は、宅地との共存が可能なように配慮が必要 防災面において、道路整備が必要な部分がある 子どもが歩きやすい道づくりが必要 	
<p>政策推進と市の持続的発展の基盤となる財政力の向上に資する産業の育成を促す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自然と調和した企業誘致として、例えば研究開発型の企業や教育産業等が求められるが、現実には難しさもある 土地利用はメイクマネーができるように 	
<p>まちの要としての富士見台地域を活性化させ、市全体の活力創出を促す土地利用を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 若者を呼び込む施策を行い、老若男女が同じ地域に住んで、支え合う姿が理想 観光の観点から、富士見台団地の空き室などを利用した宿泊施設をできないか 	<p>観光の観点について、どのようにとりいれるべきか</p>
<p>公共施設の整理と再編を行い、地域の諸課題への対応と持続的なサービスの提供を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には「文教都市くにたち」の中心となる公共施設整備が必要 市民が集えるクリエイティブな施設や、国立駅から働きに行く市民にとって利便性の高い施設など 国立駅前には市役所機能や、文化ホール、ホテル、産直施設などがある とよい 	<p>施設整備についてはどう考えていくべきか。 【参考】国立駅周辺において以下の機能を整備予定（未確定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援施設 多目的ホール 市民サービスコーナー 図書の出借、返却 女性等相談 観光案内所 オープンスペース等